

## 単施設研究用

研究課題名「転移性肝腫瘍に対する至適治療戦略～術前化学療法の可否について考える～」  
に関する情報公開

### 1. 研究の対象

2003年1月1日～2019年12月31日までに当院で肝切除術を受けられた方。

### 2. 研究目的・方法・研究期間

転移性肝腫瘍の外科的治療において、病勢コントロール目的に術前化学療法を導入する場合がありますが、有効性や至適治療期間についてはコンセンサスが得られていません。治療予後の改善のためには、術前化学療法施行が妥当な症例群の特徴やその期間について明らかにする必要がありますと考えています。

2003年1月1日～2019年12月31日の間、当院にて各種癌の転移性肝腫瘍で肝切除術を施行した172症例につきまして、電子カルテ上の臨床病理学的データおよび再発や生存に関わる予後データを回収のうえ、術前化学療法の有無との相関を検討しました。

本課題の研究期間は、実施承認日から2021年12月31日までを予定しております。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：

年齢、性別、病歴、肝疾患治療歴、手術日、手術前後の血液検査結果、腹部CT画像 等

試料：

なし

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒466-8550

名古屋市昭和区鶴舞町 65

名古屋大学大学院医学系研究科

消化器外科学

TEL: 052-744-2245

FAX: 052-744-2252

研究分担者:

名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学・講師・山田 豪

名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学・病院講師・林 真路

研究責任者:

名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学・教授・小寺泰弘